

事業計画書

事業名	高齢者の居場所づくり事業																														
場所	沼津市 西間門地区内																														
期間	平成28年 7月 1日 ~ 平成29年 3月31日																														
日程	実施項目・作業項目																														
	<p>少子高齢化や人口流出の影響によって地域交流の希薄化が進行し、独居高齢者や高齢世帯では社会参加や外出することに困難を感じている地域住民が増加傾向にある現状に対して地域包括ケアシステムが提唱される中、高齢者を中心とした住民同士の結び付きや結束力を補う場となる居場所づくり（サロン活動）が必要と思ひ、間門に拠点を置く介護事業所(株)コスモスケアサービス沼津営業所職員の有志で西間門座を立ち上げる。</p> <p>平成27年11月からトライアルとして月1回の活動をしてきたが、住民主体の企画内容への変更や将来的に展開できる事業にする目標等が導き出されたことにより、改めて人員配置、広報活動等の運営方法を見直し、検討を行い、今年度から本格始動する。</p> <p>実施場所…西間門内(株)山田自動車所有事務所 開催頻度…月1回 人員配置…介護支援専門員・社会福祉士・介護福祉士の計6名 利用定員…10~30人 (実施内容及びスケジュール等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施内容</th> <th>人員配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>各農作物報告及び企画検討会（夏～秋）</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>千本浜（海）遠足、各農作物報告会</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>収穫祭①（各農作物料理及び食事会）</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>収穫祭②（地域への振舞）、企画検討会（冬～春）</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>香貫山（紅葉）遠足、絵葉書作成</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>忘年会（落語、映画等上映会）</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>新年会（新年祈願参拝）、書初め</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>川柳、振り返り会</td> <td>3名以上</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>お花見</td> <td>3名以上</td> </tr> </tbody> </table>		実施内容	人員配置	7月	各農作物報告及び企画検討会（夏～秋）	3名以上	8月	千本浜（海）遠足、各農作物報告会	3名以上	9月	収穫祭①（各農作物料理及び食事会）	3名以上	10月	収穫祭②（地域への振舞）、企画検討会（冬～春）	3名以上	11月	香貫山（紅葉）遠足、絵葉書作成	3名以上	12月	忘年会（落語、映画等上映会）	3名以上	1月	新年会（新年祈願参拝）、書初め	3名以上	2月	川柳、振り返り会	3名以上	3月	お花見	3名以上
	実施内容	人員配置																													
7月	各農作物報告及び企画検討会（夏～秋）	3名以上																													
8月	千本浜（海）遠足、各農作物報告会	3名以上																													
9月	収穫祭①（各農作物料理及び食事会）	3名以上																													
10月	収穫祭②（地域への振舞）、企画検討会（冬～春）	3名以上																													
11月	香貫山（紅葉）遠足、絵葉書作成	3名以上																													
12月	忘年会（落語、映画等上映会）	3名以上																													
1月	新年会（新年祈願参拝）、書初め	3名以上																													
2月	川柳、振り返り会	3名以上																													
3月	お花見	3名以上																													
事業効果	<p>地域住民への情報発信や口コミなどで徐々に参加人数を増やしていき、民生委員や自治会等とも連携をとって活動の幅を広げていくことで地域の絆が深まり、地域の活性化につながる。また、高齢者の社会参加を促進することで、心と身体の健康が維持できるとともに、高齢者の孤独感（孤立感）の解消につながるほか、社会保障費（医療・介護）の抑制につながる。</p>																														

<p>公益性</p>	<p>地域包括ケアシステムの理念に則り、高齢者の居場所づくりを行う事業である。</p>
<p>発展性</p>	<p>収益を目的とした事業ではないことから、初期の活動費用の確保が課題であったが、補助金を活用することにより、高齢者のニーズに合わせた企画を実施することが可能となり、活動内容の充実を図ることができる。また、より魅力のある居場所として地域住民に情報発信しやすくなる。</p>
<p>地域性</p>	<p>まずは西間門地区で事業を展開していく。地域資源の活用なども視野に入れて自治会や民生委員、地区社協との連携を図りながら地域全体で高齢者を支えるシステムを構築する事業である。</p>
<p>必要性</p>	<p>現在、国では超高齢社会に対応するために地域包括ケアシステムの構築が急がれている。社会保険制度（共助）や自治体の施策（公助）では全ての高齢者を支えていくことは不可能であるため、自身が行うケア（自助）や地域の中で高齢者を支えていくシステム（互助）づくりが不可欠となっている。高齢者の居場所づくりはその有効な手段になり得ると考える。</p>
<p>先導性</p>	<p>まずは主体となって居場所づくり活動の運営を展開していくが、徐々に主体を地域の住民に移し、側方支援に回れるような視点に立ってシステムの構築を目指していく。 上記の内容を達成できるように活動するが、達成できた場合はモデルケースとして他の地域団体や他企業にも働きかけ、ノウハウを情報提供しながら居場所づくりのアドバイザー的な展開も考えている。</p>
<p>継続性</p>	<p>地域住民に居場所づくりの存在と活動内容の周知を図ることで理解を深め、参加者や協力者を増やしていく。その上で事業継続のための運営費を徴収することで事業の継続性を担保し、住民主体で独立運営が可能になるような仕組みを構築していく。</p>